

令和4年度一般会計予算、令和4年度特別会計予算及び令和4年度政府関係機関予算につき撤回のうえ編成替えを求めるの動議

令和4年2月21日
国民民主党・無所属クラブ

第一 令和4年度予算の編成替えを求める理由

長期にわたり停滞するわが国の経済を動かすため、「給料が上がる経済」を実現しなければならない。そのためには、積極財政により「人づくり」に積極的に投資していく必要がある。また、ガソリン・軽油価格が高騰し、国民生活は大きな影響を受けている。本当初予算は真に国民生活を支えるための予算とすべきである。よって、政府は、令和4年度予算を撤回し、最低限、次に示す「第二 編成替えの概要」の内容に則り、編成替えを行うべきである。

第二 編成替えの概要

①賃上げ税制の見直し

○政府案に連動した税制の見直しのうち、賃上げ税制に関しては赤字企業・事業者も対象に含む国民民主党案に修正する。

②教育国債発行、教育・科学技術予算倍増

○教育国債発行により財源を確保し、教育など人づくりのための予算及びデジタル化・カーボンニュートラルを柱として科学技術関係予算を倍増する。

③消費税減税

○当分の間の措置として消費税率を10%から5%へ引き下げる。

④ガソリン減税

○トリガー条項の凍結を解除し、ガソリン・軽油価格の大幅な値下げを実現する。

⑤コロナ対策

○新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン、経口薬、中和抗体薬のいわゆる三種の神器確保に重点的に予算を充てる。

○税・社会保険料・公的融資に関する減免措置継続に予算を充てる。

⑥職業訓練受講給付金の支給要件緩和

○職業訓練受講給付金の支給要件を緩和し、求職者の生活保障、セーフティネットを拡充することによって、円滑な労働移動を促し、賃金上昇につなげていく。

以上